



尾古裕子
(さざんか台団地)

いつもおいしい 給食をありがとう

今年の4月から保育園も完全給食となり、我が家の保育園に通う息子も、温かいご飯を食べさせていただいています。朝、息子を教室に送る時、給食室の横を通るのですが、給食スタッフの皆様が

一生懸命作ってくださっている姿に、「ありがたいなあ」といつも心の中で感謝しています。献立もバランスよく、旬の食材も多く取り入れられており、子どもたちの健康や成長、おいしく食べられるよう気を配ってくださっているのを感じます。
息子も給食とおやつがとても楽しみな様子で、「今日、〇〇を食べたよ！おいしかったよ！」と、毎日嬉しそうに教えてくれます。
我が家でも、楽しくバランスの良い食事を心がけ、子どもたちが元気にのびのび成長していけるようサポートしていきたいと思えます。



荒松徳夫
(大山口)

大山町の 新たな切り口

近い将来、伯耆の国大山町に新たな切り口が誕生するかもしれない。東京造形大教授井田勝己氏が、定年後大山町坊領に拠点を構えて創作活動を考えているらしいと言ふ。今、日本の彫刻界で、指導的立場にある井田君が大山町において活動するとあれば、今まで観光一点張りの大山町が一躍芸術文化の町に幅を拡げる事になる。
現在、既に名和のサッカー場は満杯状態だし、陸上競技場も改修

して、更にトップアスリート達のトレーニング場に生まれ変わると言う。
大山開山1300年の今年、伯耆国大山は、かなり全国的に話題に上っている。この機会にもっともっとその良さ、つまり歴史・文化・自然・食などをアピールして、全国や世界の人達に来て戴くことだ。必ずやその本物を実感してくれる事だろう。



逢坂美紀
(御来屋7区)

農業と共に歩む

「大山町は何もなくて退屈」嫁いできたばかりの頃はそう思っていました。しかし、主人が立ち上げた農業法人と一緒に仕事をするようになり考えが変わりました。会社には県外からのお客様が数

多く来られますが、皆さん必ずとっていいほど「大山町の食材は美味しい」と言います。そんなお声を聞くたび嬉しくなり、ここは食材という強みがある魅力的な町だなと感じるようになりました。
食材を作る仕事といえはやはり農業です。大山町の特産でもあるブロッコリーは県外の方にも好評です。私の家族や友人も大山町の野菜は美味しいと喜んでくれています。
農業に携わる仕事に就き3年。農業を通じて様々な事を学ぶ事ができました。これからは大山町や農業の魅力をたくさんの人に伝えていけるようになりたいです。

あとがき

早いもので、町政に関わらせていただいて1年、議員として初めて体験した戸惑うことばかりでしたが、議会だよりの編集をとおして、さまざまなことを学ばせていただきました。
特に、過去に経験してきた教育や会計事務以外の様々な町政上の課題について、先輩議員の知見や問題に向き合う姿勢は大きな指標となりました。議場では、賛否に迷うこともありましたが、議会だよりの編集と同じように、どこまでも町民の皆様目線で、分かりやすく、態度を表明してきたくもりました。
今後も皆様のご意見やご指導をいただきながら、より身近な町政と、議会だよりを一緒に編み上げたいと思います。(門脇)

【発行責任者】

議長 杉谷 洋一

【広報常任委員会】

委員長 大原 広巳

副委員長 森本 貴之

委員 野口 俊明

委員 吉原美智恵

委員 近藤 大介

委員 米本 隆記

委員 門脇 輝明

委員 杉谷 洋一

発行/大山町議会 編集/広報常任委員会
〒689-3211 鳥取県西伯耆郡大山町御来屋328
☎ 0859-54-5213 〆 0859-54-5214

議会だよりのご感想をお寄せください!